

1. プランの概要

基本理念：質の高い市民サービスを創り続ける行政経営の実践

推進期間：令和5年度～令和8年度（4カ年）

取組姿勢：① 市民目線

市民の利便性向上に取り組みます

② スピード感

社会の変化に迅速に取り組みます

③ チャレンジ

できることから積極的に取り組みます

④ 成果検証

成果と検証を重視して取り組みます

⑤ デジタル化

デジタルの活用を前提に取り組みます

2. 基本方針

方針1 行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）

（1）働き方のDXと機能的な組織運営

全職員の情報リテラシーを高め、デジタル技術を活用した働く環境の充実に取り組むとともに、柔軟で機能的な組織運営を行います。

- 職員による課題解決アプリの本格導入
- ドローンを活用した危険箇所の点検等の実施
- 審議会等の見直し など

（2）行政データの活用と伝わる情報発信

市民の利便性の向上や地域の活性化につなげるため、オープンデータの普及を促進します。また、SNSを効果的に活用し、市政の情報発信の更なる充実を進めます。

- 行政情報のオープンデータ化推進
- SNSを活用した発信の充実 など

（3）職員の意識改革と人材の確保

新しい発想で変化に対応できる人材の育成と、多様なニーズに応える資質のある人材の確保に努めます。

- デジタル行政推進リーダーの育成
- 新たな知識やスキルの学び直しの推進
- より幅広い人材を求める採用活動の強化 など

方針2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）

（1）多様な主体との協働の推進

市民ニーズが多様化する中で、持続的に行政サービスを提供していくために、多様な主体との更なる協働を推進します。

- 若い世代の意見や提案を話し合う金沢行動会議の開催
- まちづくりに係る外部人材の活用方策の検討
- 市民との共創プラットフォームの構築 など

（2）民間の創意工夫を活用する官民連携の推進

官民連携により、行政にはない知識やノウハウを積極的に取り入れ、質の高い市民サービスを提供します。

- まちづくりに係る民間企業との連携方策の検討
- 民間支援を活用した旧森紙店の保存整備と活用
- 金沢MaaSの推進 など

（3）自治体間における広域連携の推進

近隣自治体と連携し、都市圏全体で資源を効果的に活用することにより、人口減少・超高齢社会にあっても、活力ある地域経済を維持します。

- 石川中央都市圏交通ネットワークの強化 など

方針3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

（1）公共施設の保有量の適正化と施設環境の充実

中長期を見据え、計画的かつ持続可能な公共施設等の適正管理に取り組みます。

- 市立保育所、中央卸売市場の再整備
- 公共施設等総合管理計画の見直し
- 公共施設太陽光発電設備の設置推進 など

（2）効果的な政策立案と歳入の確保

厳しい財政運営状況の中、将来にわたり質の高い市民サービスを提供していくため、実効性のある政策立案の推進や自主財源の充実に取り組みます。

- より効果的な政策立案を推進する人材の育成
- ネーミングライツの導入
- 債券による資金運用の実施 など

（3）特別会計の整理合理化と経営基盤の強化

社会的な趨勢の変化に合わせた特別会計の整理統合や公営企業の経営基盤強化により、安定したサービスの提供に努めます。

- 駐車場事業費特別会計の経営の安定化
- 水道情報活用システム等による効率的な運営 など